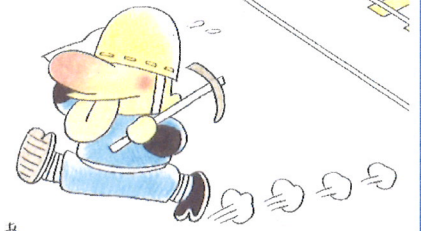




# プロフィール

## 山根青鬼 (漫画家・のらくろトリオ)



昭和10年、東京赤坂に双生児の兄として生まれる。

昭和24年、兄弟合作でデビュー。

翌年、師「田河水泡」から「青鬼」のペンネームを名付けられ、弟の「赤鬼」と共に門下生となる。

平成元年、「永田竹丸」、「山根赤鬼」と共に「のらくろ」の執筆権を継承。

### 【代表作】

「めだかちゃん」、「おやじバンザイ」、「でこちん」、「ホイキタ110番」、「名たんていカゲマン」など

### 【受賞歴】

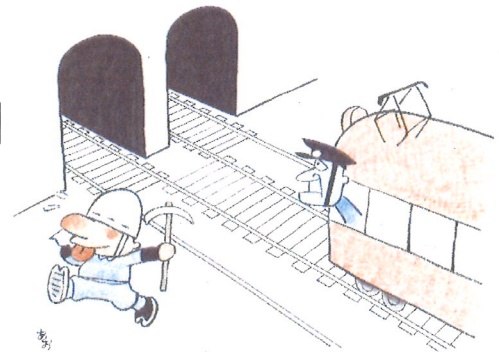
「日本漫画家協会優秀賞」、「読売国際漫画大賞優秀賞」8回、「黒潮マンガ大賞」2回、「オホーツク国際漫画大賞」、「日本漫画家協会特別賞」、「富山県新川地域発展奨励賞」、富山市「高志の国文学館」に作品を永久展示



## 鉄道まんが「ゆかいなふたり」

昭和53年より「日本漫画の会展」に展示。鉄道好きで有名な山根青鬼氏が、鉄道で移動中に運転手や保線区員の心情を想像して思いついた作品。

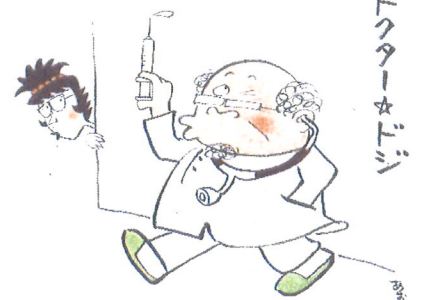
運転手と保線区員のコンビを主人公とした「ひとコマ漫画」で、両者は互いに不可欠な存在なのに対立しているように見せたユーモアあふれる作品。人気のため、2021年に新作を描き下ろし。



ゆかいなふたり

## 「ドクター・ドジ」

西東京医師協同組合の機関誌に48年間連載中。シビアと思われがちな医療現場にドクター・ドジが、明るさと笑いをふりまく姿を描いたコマ漫画の1頁。



ドクター・ドジ

## 「おだいじに」

全国医師協同組合連合会の機関誌に28年間連載中。尾大寺医院夫妻の明るく楽しい日常を面白おかしく描いた4コマ漫画。



おだいじに